

「小倉山の森林再生に向けた事業計画－後期計画編－」 の策定について

小倉山では、平成25年度に策定した事業計画(※)に基づき、10箇年の予定で森づくりを進めており、地域の方々と共に、植樹活動や維持管理活動等を継続的に進めているところです。

※ 10箇年の全体計画、5箇年(平成25年度～平成29年度)の前期計画等から構成される計画

近年その成果として、小倉山は、コバノミツバツツジが咲き誇り、多くの観光客が訪れる明るい森へと変化してきました。

今回、昨年度末に前期計画の期間が終了したことを受け、今年度以降の5箇年(平成30年度～平成34年度)で実施する後期計画を策定しましたので、お知らせいたします。

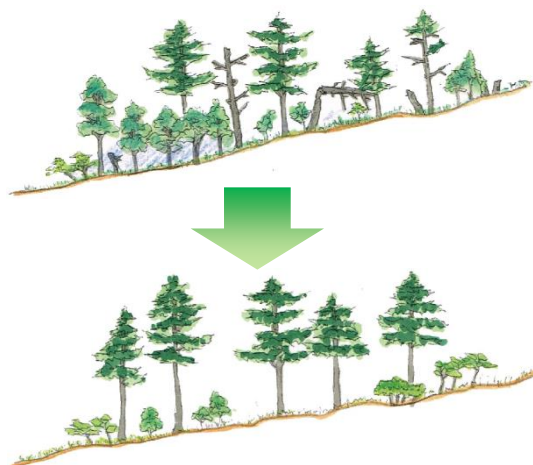


1 後期計画における森林再生の方針

魅せること と 保全すること を形にする
～ 森林の再生を観光の推進につなげる ～

2 森林再生のポイント

- (1) 観光として魅せる竹林を維持しながら重要種の生育地保全を図る。
- (2) 針広混交林化を図り四季を感じる森林景観として魅せながら斜面の安定化を図る。
- (3) 借景景観としてのアカマツ林の再生を図りながら、重要種の生育保全を図る。
- (4) 四季を彩りながら、斜面の安定化を図るモミジの森林景観づくりを行う。
- (5) ソヨゴなど浅根性樹種の林相改善を行いながら、四季彩のある登山道として整備を行う。



森林再生のイメージ

苗木を植えて
森を育てています。



3 添付資料

- ◇ 小倉山の森林再生に向けた事業計画(後期計画)(概要版)